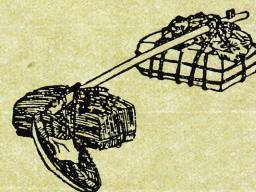
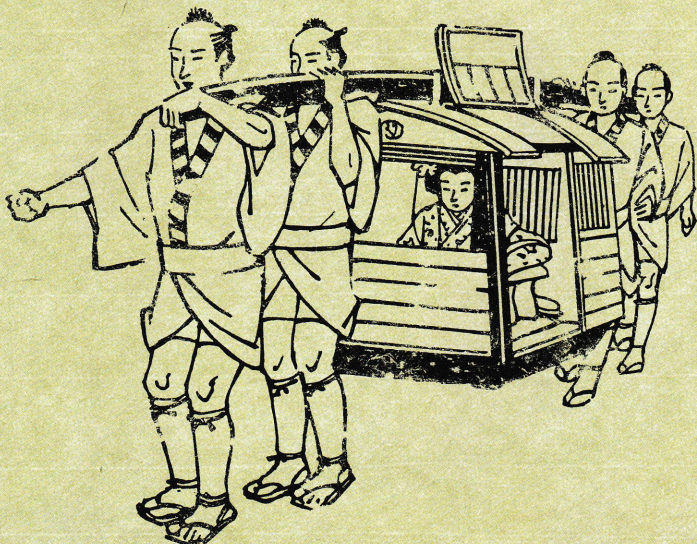


往事の面影が残る道

# 姫街道



細江町  
三ヶ日町



三ヶ日町  
三ヶ日町観光協会

〒431-1414 静岡県浜松市北区三ヶ日町三ヶ日500-21  
TEL.053-524-1124

細江町  
細江町観光協会

〒431-1305 静岡県浜松市北区細江町気賀595-1  
TEL.053-523-0713

■印刷インクには環境にやさしい植物性大豆油インクを使用しています。



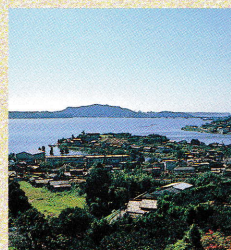






トル)で、街道をはさんで北に本番所、南に向番所と二層の望楼があつて、大砲一門と多くの武具や甲冑類が常備してありました。

### 小引佐



不便でしたので、領主は、関所の裏道を作りました。それが犬くぐり道です。道の途中にむしろ一枚をたらし、立つて歩く人間は通れないが、犬がくぐるのはさしつかえないという法の抜け道でした。

### ダイダラボッチの足跡

ここは、小引佐と呼ばれ、姫街道のなかで、最も景色のよい所として有名です。奥浜名湖と東名浜名湖橋がよく見えます。近くに霊験あらたかな広玉稲荷があります。

琵琶湖を掘った土を運んで富士山を作ったといわれる伝説の巨人ダイダラボッチの足跡。尉ヶ峰に腰をかけて弁当を食べたとき、弁当の中に入っていた小石を捨てたら礫島ができました。腰をかけたので尉ヶ峰が少し低くなったということです。

### 薬師堂



本尊は薬師如来、旅人から病気にならないよう祈り続けられてきた仏様です。現在のお堂は天保六年(一八三五)に再建されたものです。このお堂は引佐峠で本坂峠につぐ難所であり、険しい山道になつていました。このため石畳が各所に形成され、通行の安全が図られました。道の両側には雑木が茂り、昼間でもやや暗いです。

### 石畳



引佐峠は本坂峠において本坂峠につぐ難所であり、険しい山道になつていました。このため石畳が各所に形成され、通行の安全が図られました。道の両側には雑木が茂り、昼間でもやや暗いです。

# 歴史を刻む風景を訪ねて。

## 史跡と自然の景観に恵まれた浜名湖北の貫道「姫街道」

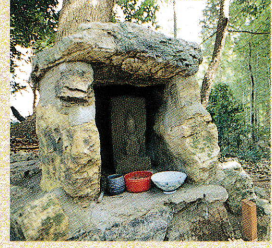
### 引佐峠



### 象鳴き坂



### 六部様



三ヶ日町と細江町の境の峠を引佐峠といいますが、姫街道で本坂峠に

昔、巨大な象は、新居の今切を船で渡すことができず、姫街道を迂

昔、行き倒れの人を葬った墓地だといわれています。ここに葬られ



あまりにも無様に殺された人々の冥福を祈り、燃えさかる城に向かつて手を合わせ、この地で切腹したといわれています。

### 姫岩



江戸時代の文書には「平石御休憩所」と書かれていて、姫街道を通行する大名や姫様に、近藤家の家臣が出向いて湯茶の接待をした所だと伝えられています。ここに座ると良いことが起こるといわれています。

代官屋敷	6分	0.4km	6分	六部様	10分	0.7km	10分	一里塚	13分	0.9km	12分	石投げ岩	15分	0.6km	12分	引佐峠	30分	1.7km	34分	岩根橋	2分	0.2km	2分	西気賀駅	10分	0.5m	5分
------	----	-------	----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	----	-------	----	------	-----	------	----



なやませました。峠からみる引佐・細江の景色は素晴らしいです。

### 慈眼寺庚申堂



今も、ここを象鳴き坂と呼ぶのは、この険しい峠のために象が鳴いたからであると言われています。

### 伝馬間屋場跡

本坂峠と引佐峠にある三ヶ日宿は荷物などを運ぶ人馬の需要が多くありました。伝馬間屋とはその人馬の継ぎたてをするところでした。

### 三日池



元からあった庚申堂が明治初年焼失したため、佐久米海岸の阿弥陀堂を購入移築したもので、内外陣向拜の古い建築様式です。この堂の格天井には華山の高弟福田半香や、蘆水棕林などの絵があります。

### 三ヶ日宿本陣跡

三ヶ日は険しい本坂峠の東の麓の宿場でした。したがって大名など要人の泊る本陣も庶民の泊る旅籠もありました。本陣には薩摩の殿様四千人余りが宿泊して宿場全体が大混雑した記録も残されています。

志という人だと伝えられています。毎年8月にはここで供養祭が行なわれます。

### 代官屋敷跡



昔、この地方の領主近藤氏(江戸在住)に代つて、この領地を実質的に支配した大野氏の屋敷で、現在もその子孫が居住しています。土地の人はこれを、代官様代官屋敷と今でも呼んでいます。

### 石投げ岩

引佐峠を登り下りするときに、この岩に石を投げて無事を祈ったといわれています。

### 旗本近藤家陣屋跡

江戸時代三ヶ日町北部一帯を支配した旗本大谷近藤家の陣屋がありました。大谷近藤家は、寛永六年(一六二九年)気賀近藤家から分家し、二一八年(一八〇一年)天保一〇年(一八三九年)浜北区内野に移るまで、この地方を支配しました。

### 私去堂



### 鏡岩



三ヶ日高校	11分	0.8km	11分	三ヶ日	6分	0.4km	6分	一里塚	8分	0.6km	8分	水準点	11分	0.8km	11分	大里峠	21分	1.7km	21分	慈眼寺前	5分	0.4km	5分
-------	-----	-------	-----	-----	----	-------	----	-----	----	-------	----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	------	----	-------	----









# 姫街道

御油から見付まで

## 姫街道の由来

姫街道は東海道の御油宿から当古(和田)長楽(嵩山)本坂峠(三ヶ日)気賀(見付宿)へ通じるおよそ60キロの道で、東海道の脇街道、別名東海道本坂越・本坂道・本坂街道などと呼ばれ重要な街道でした。

この脇街道が江戸時代幕府御用道として注目されるようになったのは、宝永四年(一七〇七年)十月四日、東海道筋を襲った大地震が発端でした。浜名湖口から新居宿一帯が大打撃を受け、東海道の通行が困難になったため、臨時に姫街道を往来するようになったのです。

以来、東海道が通行可能になっても、増加したこの街道の通行量は減らず、街道の使役に駆り出される付近の農民は、災害の復旧もままならないまま農業もできず、迷惑していました。東海道の宿場は反対に、通行人が少なく寂れて困ったほどでした。

この両街道の住民の嘆きに応じて、幕府は享保二年(一七一七年)十月に、特別なこと以外は大名や旗本がこの街道を通ることを禁止しました。それ以降、この道は時折宮家(公家・大名の貴婦人の大きな行列が通るだけの静かな往来になりました。

姫街道の名前の由来は大きく分けて二つの説があります。一つは、姫様や婦女子が通ったからという説。もう一つはひね(古)という意味の街道という説です。

一つ目の説では、①今切(新居)の関所は婦女子の通行に対して取締りが特に厳しかったから②舞阪、新居間の海の危険を婦女子が避けたから③今切関所、今切渡しという「今切」の言葉は婦女子に不吉と思われたから④の三

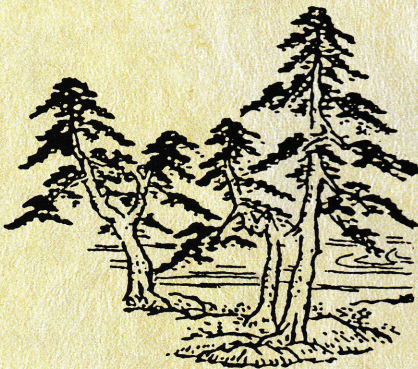
つが言われていますが、①では、気賀関所は婦女子に甘かったか②では、海は一年中荒れていたか③では、縁起かつぎを重視しすぎではないか—という反論もあります。

二つ目の説では、万葉歌が東海道のほうにはなく、こちらの脇街道にのみ残っているのが、この街道を昔の主要街道として「ひね街道」と呼んでいたのが「ひめ街道」となまって変わったというのです。

いずれにしても、実際に姫様も随分通っていたようです。江戸時代の公文書では姫街道の呼称は見られず、同末期の民間文書にやっと姫の名を冠した呼称が登場しているため、姫街道の名称が定着したのはそれ以降と考えられます。

この山中を通る姫街道も明治・大正時代の県道等の整備に伴い、しだいに通る人がいなくなり自然に埋もれて消えてしまいました。

昭和四〇年初頭、「姫街道の復元再発見」を願う人々によつて、御油から見付までの姫街道通過六市町村で「姫街道を守る会」が結成されました。また毎年桜の咲く頃に、お姫様を中心とした百余名が豪華絢爛な衣装をまとい都田川堤桜並木を歩く「浜松市姫街道中」が行われています。



●数字は江戸からの里程



# ちょっと足を伸ばして三ヶ日町、細江町自然と歴史めぐり



## 摩訶耶寺

摩訶耶(まかや)寺は、奈良時代開基の真言宗の古寺。平安時代の様式をもつ鎌倉時代初期の庭園や、国の重要文化財に指定されている木造千手観音立像と木造不動明王立像は必見です。



## 只木遺跡

昭和34年に発見された「只木遺跡」は太古のロマンを感じさせます。調査の結果、人骨や獣骨(オオツノ鹿、ヒョウ、アオモリ像など)が発見され、学問的にも貴重な資料といえます。



## 浜名惣社神明宮

この地の神社の総社と考えられる浜名惣社神明宮の本殿は、静岡県には珍しい「板倉形式」と呼ばれる神社建築で、平成5年に、国の重要文化財に指定されています。



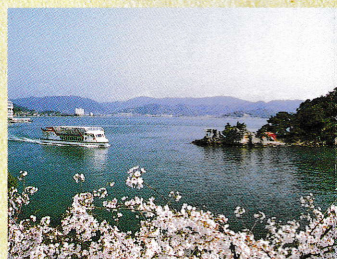
## 大福寺

摩訶耶寺と並び称される古寺、大福寺。裏山の斜面を利用して全面に池を配した廻遊式の庭園は、四季折々に楽しむことができます。



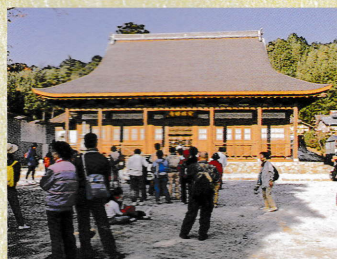
## 平那の峯

平那(おな)の峯と呼ばれる万葉史跡の登山口には、遅咲きの桜「三ヶ日桜」が植えられています。この桜は、近年発見された新品種の桜として話題を呼んでいます。また裏山には県の天然記念物に指定されている「マンサク」が群生しています。



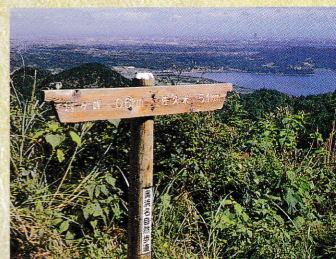
## 浜名湖遊覧船

瀬戸と館山寺を結ぶ浜名湖遊覧船。四季折々湖上から見る三ヶ日も一味違った美しさです。



## 初山宝林寺

旗本の近藤貞用が寛文4年(1664年)に中国僧の独湛(どくたん)禪師を招いて開創した黄檗宗の寺。境内には中国人作の石仏もあり、五智如来や三石仏が有名です。



## 尉ヶ峰ハイキングコース

細江公園を出発地点とし、富士見台、二三月峠から展望台までのコース。展望台からの眺望は絶景で、浜名湖を一望し、遠くは富士山までも望むことができます。



## サイクリングロード

ハンドルさばきも軽やかに…奥浜名湖の美しい景勝地に沿うサイクリングロード。みおつくし橋や吾跡川楊を巡ることもでき、絶好のジョギングコースとしても魅力です。



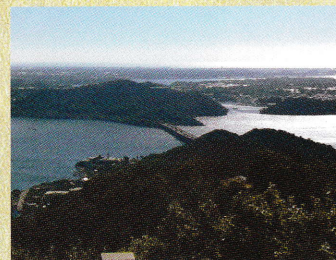
## 細江公園

都田川や奥浜名湖が眼下に広がる眺望は格別で、文学の丘には天皇陛下や与謝野晶子の歌碑等があります。隣接している市営国民宿舎奥浜名湖では展望風呂が楽しめ、スッポン・ロブスター料理が有名です。



## 細江神社

明応7年の地震と大津波で、浜名湖入り口の湖の守護神が細江の赤池に流れつきました。この故事からご神体は、地震厄よけとしてあがめられ、地震に強い神様として有名です。



## 奥浜名湖展望公園

姫街道に接し、また尉ヶ峰ハイキングコースが貫き、公園の山頂からは浜名湖が一望できます。周辺の森林と調和した広葉樹を中心とした森林空間です。



## ◎レンタサイクルはいかがですか！

潮風を感じながらさわやかサイクリングで、姫街道を巡ってみませんか。

- レンタサイクルお問い合わせ
- 三ヶ日駅レンタサイクル
- 貸し自転車30台 (MTB有り)
- 三ヶ日駅ターミナル 053-525-0102
- 気賀駅レンタサイクル
- 貸し自転車20台 (MTB有り)
- 気賀駅ターミナル 053-523-0157

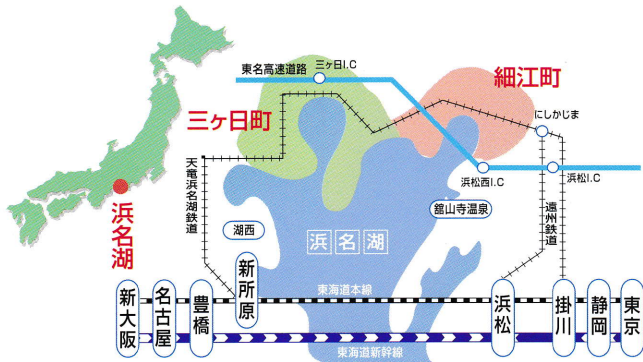


# 三ヶ日町・細江町

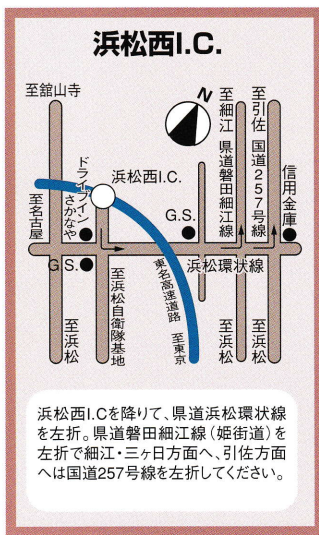
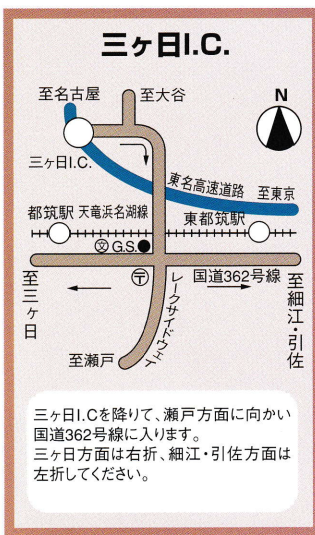
## 交通アクセス

- JR・バス利用：東海道本線、または新幹線で浜松駅下車。北口バスターミナル15番乗り場より遠州鉄道バス奥山線、渋川線、引佐線、気賀・三ヶ日線が出ています。
- 天竜浜名湖線利用：掛川または新所原から乗車。三ヶ日駅、気賀駅にはレンタサイクルもあります。
- 車利用：浜松西I.C.、または三ヶ日I.C.より。

お問い合わせ：遠州鉄道細江営業所 053-523-1121  
天竜浜名湖鉄道 053-925-2276



駐車のご案内：三ヶ日方面／三ヶ日地域自治センター  
細江方面／北区役所、細江公園駐車場  
バスの場合／気賀関所駐車場



# イベント・お祭り

## 歳時記

1月初旬

### 祝田厄除観音大祭 細江町

毎年正月6日に行われる大祭。1200年も前から厄除の信仰を集めており、まつられている観世音は、名僧行基の作。当日は露店が並び甘酒サービスや、投げ餅が行われます。



【善明寺にて】

2月下旬

### マンサクまつり 三ヶ日町

地元の女性グループの方々による、お茶とみかん餅のサービス。黄色に色づいたマンサクを見ながら、出来たてのみかん餅をご賞味下さい。

【平那の峯】

4月上旬

### 姫様道中 細江町

駕籠に乗ったお姫様が百余名の侍、奥方、腰元、奴などを従え、気賀関所を出発。都田川堤桜並木など桜舞う姫街道(細江町内)を古式ゆかしく練り歩く春の風物詩。江戸時代、難所を避ける道として重要視された、東海道本坂道。高貴な貴婦人の行列が多く通るこの道を後に姫街道、姫道と呼ぶようになった。華やかな歴史絵巻をご覧ください。

【細江町気賀】

7月中旬

### 細江神社祇園祭 細江町

奥浜名湖に夏本番を告げる細江神社の祇園祭。ご神体を乗せた神輿船や出引きを乗せた伴船などが奥浜名湖を優雅に渡る姿は必見です。



【細江神社】

7月中旬

### ゆかた祭り 細江町

細江神社祇園祭に併せて気賀商店街で開催されるイベント。祭りでは、色とりどりの浴衣を着て訪れた人を対象に、すばらしい賞品が当たる抽選会が行われます。



【気賀商店街】

8月

### 三ヶ日花火大会 三ヶ日町

猪鼻湖上から約5000発の花火を打ち上げ。湖上ならではの扇形に開く花火を筆頭に20号玉、仕掛け花火、湖上大スターメインなど大迫力!

【猪鼻湖上】

10月~12月

### みかん狩り 三ヶ日町

日本一の三ヶ日みかんを楽しむことができます。浜名湖を見渡せる景色を楽しみながら食べるもぎたてのみかんは最高!食べ放題で11月頃が食べ頃。



【三ヶ日町全域】

10月~12月

### 気賀関所まつり 細江町

平成2年に再建した気賀関所のおまつり。当日は姫様変身撮影会、本番所でのお茶会、物産展、フリーマーケットなど多彩なイベントが行われます。



【気賀関所ほか】

11月上旬

### 橘神社例祭・筆供養 三ヶ日町

平安時代初期にこの地で非業の死をとげた日本三筆のひとりである書道の大家・橘逸勢と、彼に付き添った娘・妙をたたえ、書道展や筆供養などが行われます。

【橘神社ほか】